

行政ができること 30年度の取組(抜粋)

<p>1 健康診査管理</p>	<p>広報掲載、自治会回覧、ホームページ随時掲載、がん検診等に関する啓発記事掲載し周知を図った</p>	<p>個別の受診勧奨通知、乳幼児健診時・かみかみ百歳体操支援時・イベント等機会を通じて健康教育の実施し、がん検診の啓発や周知を図った</p>	<p>地域の医療関係者を対象にオープンカンファレンスを医師会と共催で実施、ナースカレッジを実施。医療に関する取組の情報共有をした</p>	<p>保健体育や特別活動の時間において、発達段階に応じた学習が行えた</p>	<p>年1回の健康診断、肥満児に対する保護者への助言を実施</p>	<p>年1回小中の児童・生徒を対象に定期健康診断を実施し、結果を保護者・児童生徒へ報告し、自身の健康を知る機会を与えた</p>		
<p>2 食生活</p>	<p>給食だより、園だよりにて、情報提供及び啓発運動を行った</p>	<p>発達測定結果を基に、家庭と連携しながら健康指導を行った</p>	<p>食育に関するイベント等で栄養バランスのとれた食事の展示、試食、災害時の食についての情報提供、その他資料配布、ポスター掲示 食育教室での調理実習の実施、広報で食育に関する記事を年5回掲載 朝ごはんやバランスのとれた食事等の啓発 出前講座の実施、乳幼児健診、集団検診等で相談 災害講習会を、年2回開催し、緊急時の備えの重要性について啓発</p>	<p>いずみ会リーダー養成講座 管内いずみ会会員研修「東はりま発ヘルシーメニューについて～普及・活用に向けて～」料理の写真的撮り方 加古川・高砂・加古郡給食施設協議会研修会 管内栄養士会各種研修会</p>				
<p>3 運動</p>	<p>学校園において、運動の楽しさを味わわせるとともに、外遊びの奨励を行った</p>	<p>スポーツ教室(4コース25教室)を開催し、延19,788人が参加 ウォーキング、ジョギング、サイクリング、ラジオ体操に取り組みられた方が740人あった</p>	<p>頭の体操である「たかさご愛Q診断」への参加が673人あった</p>	<p>生きがい対応型デイサービスや社協実施のいきいきサロンにおいて、継続的に運動することの大切さや情報提供やきっかけづくりを行った</p>	<p>特定保健指導や出前講座、介護予防等で情報提供や啓発を行った</p>	<p>特定保健指導のグループ教室において、年2回運動の講義と実技を実施した。また、広報でも周知し、多くの世代の参加を図った 兵庫大学と共催し、ロコモ予防教室を実施</p>		
<p>4 の歯健康及び口腔</p>	<p>園児に歯科健診、歯科衛生士によるブラッシング指導を行った</p>	<p>小・中の児童・生徒7,332人を対象に歯科健診を行い、むし歯保有者に対し、受診勧奨を行った</p>	<p>摂食嚥下外来を意欲的に実施 いきいき百歳体操を実施しているグループに対しかみかみ百歳体操のチラシを配布し、歯科衛生士等専門職がかみかみ百歳体操の支援を行った</p>	<p>乳幼児健診やひだまりサロンにて歯の健康に関するチラシの配布と歯科衛生士による健康教育・個別相談を実施し、ブラッシング指導及び歯と口の健康についての情報提供・普及啓発を行った</p>	<p>難病患者や障害者を対象に、歯科医師による相談を実施 在宅療養中の難病患者に歯科医衛生士による訪問指導を実施 特定保健指導において歯のグループ指導を実施、歯科衛生士等専門職による歯と健康に関する情報提供・普及啓発を行った、集団検診受診者等歯周病予防に関するチラシを配布</p>			
<p>5 タバコと薬物</p>	<p>学校での保健体育や特別活動で、たばこやアルコールの害について学習を行い、正しい知識の啓発 たばこやアルコールの健康への害に関するポスター、チラシで周知 医師の診察や患者への栄養相談で啓発を行った</p>	<p>学校園における敷地内禁煙の実施を行った 建物内及び敷地内指定区域での禁煙を徹底した 建物内禁煙について取り組みを継続した 中学校の協力の下、禁煙に対する意識調査を実施</p>	<p>家庭児童相談員、保健師などの訪問・相談の機会に行った 母子手帳交付時に、喫煙・飲酒に関する妊婦アンケートを実施し啓発、特定保健指導や集団検診の保健相談で、適正飲酒の指導、健康づくりの豆知識・チラシ・ポスターでの情報提供 薬物乱用防止キャンペーンに関するポスター掲示、チラシの配布</p>	<p>県庁舎内やイベント、労働基準協会や大学等と連携し、健康教育やリーフレット等の配布による普及啓発を行った 小中学生への健康教育や、健康教育を実施する講師に対し、子ども向けリーフレット等の提供による普及啓発を行った 食品衛生協会講習会や営業許可更新時に禁煙・分煙用表示ステッカーを配布した</p>				
<p>6 健康こころの</p>	<p>ストレス・メンタルヘルス等に関する研修を実施 メンタルヘルス相談の実施、職員への周知 臨床心理士2名による心理外来を実施 患者・家族の要望に応じた精神科専門病院の紹介</p>	<p>地域包括支援センターと市内4カ所の協力センターによる総合相談支援を実施</p>	<p>生きがい対応型デイサービスや社協実施のいきいきサロン等で、いき百の情報提供を行い、高齢者のこころの健康や閉じこもり予防を行った</p>	<p>市民総合相談窓口を中心として、各所管の専門相談との連携を図り、相談支援体制の充実を図った</p>	<p>身体・知的障がい者相談員による相談は、電話等により、随時実施 身体障がい者相談員による相談は、月1回実施</p>	<p>障がい者相談支援事業による相談を毎週実施</p>	<p>こころの健康に関するポスター掲示 電話相談や各事業等を通じて、相談窓口の情報提供</p>	<p>県は、精神科医による相談を実施 断酒会員によるアルコール関連相談を定例化した 保健師による家庭訪問、面接相談、電話相談を実施</p>
<p>7 親子こやか</p>	<p>子育て世代包括支援センターの保健師・助産師が中心に、母子健康手帳、妊婦健康診査助成券交付時に、面接を実施し、子育てプランを作成し、また、妊婦健診の重要性や確実な受診を勧奨した 母子保健サービスの一覧表である母子保健のしおりや子育てガイド等を利用して育児支援情報の提供を行った 妊婦歯科健診受診券交付時、パンフレットを配布し、妊娠期の歯の健康の大切さを伝え、受診勧奨した</p>	<p>プレママサロン・ひだまりサロンで保健師・助産師・歯科衛生士等による相談支援、ミニ健康教育を通じて、保護者の不安解消を行った。また、保護者同士の交流・仲間づくりの場を提供した。</p>	<p>子育て支援センター、北部子育て支援センターで、交流の場を提供した 未就園児を対象としたふれあい保育を実施し、子どもや保護者の交流の場を提供した 養育支援ネットなどを通じて、ハイリスク妊産婦の早期発見に努め、関係機関等と連携した支援を行った</p>	<p>乳幼児健診では、児の成長発達に加え、育児の環境や協力者の有無等の情報も聞き取り、虐待の早期発見に努めた 要保護児童対策地域協議会を通じ、あらゆる機関と連携し、虐待予防に努めた 虐待予防について関係機関と連携し、正しい知識の啓発に努めた</p>	<p>子育て講演会を実施し、正しい知識と情報の共有を図った 特定不妊・一般不妊・不育症治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った 学校園医との協力による学校保健の連携、学校保健委員会を開催し、学校保健対策の推進</p>			